国際経済学特殊講義ＢＩ

科目ナンバリング　ECP-405
選択必修　　2単位

ｼｰｹﾞﾙ ﾊﾞｲﾛﾝ

1. 授業の概要（ねらい）

このクラスは、米国と日本の経済貿易関係を通して、現代の日本の消費社会の構造をよりよく理解するように設計されています。 このコースでは、ケーススタディを利用して、日米が貿易摩擦を解決し、相互に有益な経済連携を構築する方法を説明します。最後に、バイデン新政権下で両国が直面している現在の貿易と経済の問題を見ていきます。

2. 授業の到達目標

このクラスは、日米間の貿易関係のレンズを通して教えられます。 学生は経済学と貿易政策の基礎を学びます。 ケーススタディーは、日米間の特定の貿易摩擦が内外の要因によってどのように形成されたか、そしてこれらの貿易摩擦の解決が日本社会の変革にどのように貢献したかを説明しています。 学生は貿易と日常生活との関係について明確な理解を深めます。

3. 成績評価の方法および基準

宿題30%; クラスへの参加、個人および小グループのエクササイズ40%、フィナル30%

4. 教科書・参考文献

教科書
TBD

5. 準備学修の内容

経済の基本的な理解を学びます。学んだ資料を理解します。

6. その他履修上の注意事項

学生は授業で積極的に活動し、授業外で勉強を準備し、授業で意見を述べることが期待されています。 宿題は必須です。時間通りにクラスに来ることは必須です。厳格な出席ポリシーが遵守されます。

7. 授業内容

【第1回】　貿易の基礎 I
【第2回】　貿易の基礎 II
【第3回】　米国–日本経済貿易関係の概要 I
【第4回】　米国–日本経済貿易関係の概要 II
【第5回】　第二次世界大戦後の日本の産業構造と貿易警政策
【第6回】　農業貿易
【第7回】　木製品と住宅貿易
【第8回】　レビュー
【第9回】　自動車貿易
【第10回】　半導体貿易
【第11回】　携帯電話と電気通信貿易
【第12回】　コンピューター貿易
【第13回】　スーパーコンピューター貿易
【第14回】　コースレビュー
【第15回】　フィナル